



人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和5年11月9日

No.12

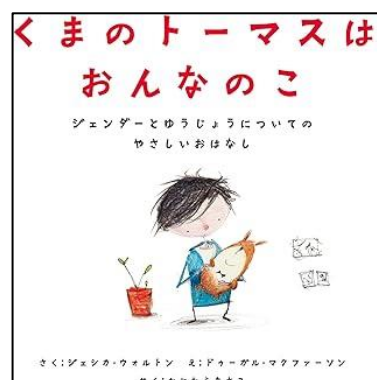
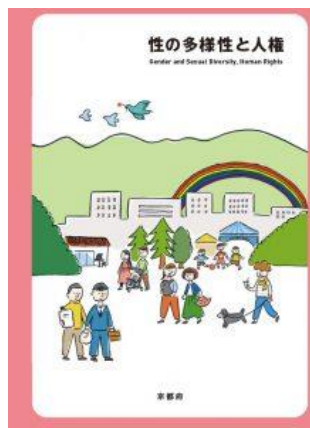


2学期の人権学習のテーマは「性の多様性」についてです。近年、LGBTの人たちへの社会的関心が高まっているにも関わらず、その理解は十分に進んでいるとは言えません。調査によっては、LGBTの割合は人口の8～10%と言われており、日本の左利きの人の割合と同じと言われており、私たちが思っているよりも身近に存在していると考えられます。周囲の理解不足やメディア等の影響からくる偏見から、当事者の方は自分らしさを出せず、生きづらさを感じていることがうかがえます。大切なことは、自分基準の思いやりや優しさ、理解ではなく、他者への敬愛。相手が何者であれ、たとえ理解できなくても目の前にあるちがいを尊重する、その付き合い方を学ぶことが大切と考え、今回のテーマとしました。

第一回目の授業は、「性的指向や性自認についての理解、多様な性の在り方やLGBT等の概念」について行いました。全校生徒の感想を交流します。

この色々な性について今たくさん言われていて、色々な意見があるけれど、私は自分がしたいようにすればいいと思っています。シスジェンダー（体の性と心の性が一致している人）じゃなくちゃだめと思ってほしくないと思いました。

ありのままに過ごして、それをみんなが受け止められる社会であってほしいと思います。
(2年)



学習に使用した冊子と絵本

「男性」「女性」という2種類では分類できないくらい、世界には様々な人がいると分かった。生物学的な性別は決まっても、その人が自分のことをどう思うかは自由なので、見た目だけでは分からないし、見た目だけで判断してはいけないと思う。性で分類するのではなく、ひとりの「人」として関わるのが大切。(3年)

体は男の子だけど、心は女の子ということ普通にして生きていける、そんな社会にするには、周りがあることを受け止めて、認め合えることが大事だと思った。男の子はこんなことをする・こうして当然だ、女の子はこんな人だ・こんなことはしてはいけないなどの固定的な考えを持ってはいけないと思った。自分がしたいようにすればいいし、周りとは比べなくていい、そんな個人個人が生きたいように生きられる社会を作っていきたい。(3年)

世の中にはいろんな人がいて、一人ひとりが自分の個性を生かして生きている。わたしはまだLGBTの人に出会ったことがないが、そういう人がいてもいいと私は思う。いろんな個性があつてこそ、人は成り立つのではないかなと思った。(2年)

人によって感じ方や生き方は違い、それは自分で自由に決める権利があると考えた。私は心も体も女の子だけど、実際にトランスジェンダーの人もあるし、それ以外の人もあるから、多様性を認められる人になりたい。これから過ごしていく中でそのような人がいたら、関わらなくなるのではなく、その人の多様性を尊重したい。(1年)

LGBTの人は私の身近にはいなくて、他人事だと思っていたけれど、今日の授業で、もしかしたら知らないところで苦しんでいる人がいるんじゃないかと考えることができました。「自分事」として考えて、その人のためにできることを考えて生活していくことが大切だと思いました。(1年)

様々な性があることを理解して生きていくことが大切だと思った。差別やいじめが起きるかもと不安になっている人もいると思うから、普通に友達として・人として接していくことがみんな出来たら、安心して過ごすことができると思った。(2年)

今は、SDGsとかでジェンダーについて考えることが増えてきたけど、まだ世の中でもそのような人に対する差別・偏見などは結構見られているので、そういうことをなくしていくためにも、学校でこのような授業をすることは大切だなと思った。見た目だけでは心の性は分かりにくく、自分が分からないうちに偏見をしていることもあるかもしれないから、相手の気持ちを理解して、もし体の性と心の性が違っていても、特別扱いせず、認めることが大切ということが分かった。(1年)

ほとんどの人が「普通」というものに縛られている社会だと思った。体の性と心の性が違って、好きになる性が同性であっても、恋愛感情を抱くことがなくても、自分が自分らしくあることを第一に考えられることが素敵なことだと思った。ジェンダーレスな時代になってきて、きっと受け入れる人も増えていると思う。「男だから」「女だから」という考えは、もう古臭いと感じた。(2年)

当事者は何て言われるか分からない・認めてくれないかもといったマイナスな気持ちが重なり、なかなか言えないまま辛い思いで生活していくのだと思う。だからこそ、周りが受け入れる雰囲気を作ることが大切。そのために、性に対する固定観念で否定するのではなく、様々な性があることをもっと多くの人を知ることが大切だと感じる。知ろうとする気持ちから逃げず、しっかりと向き合っていく必要があると思った。(3年)

世界には色々な人がいると分かった。少数派の人が他の人たちから受け入れられるような世の中を作ることが大切だと思った。そのためにそのような少数派の人たちのことを知り、たくさん接することが大切だと思う。特別だという考え方をするのではなく、みんな同じという考え方をすることが相手にとってもいいと思った。(2年)

やっぱり自分の生き方があるから、自分の思う生き方でいいと思うし、それを私たちが受け入れることでみんなが過ごしやすい社会ができると思う。だから、伝えることも大切だけど、それを周りが受け入れることが大切だと思った。また、外見だけで差別するのではなく、しっかりと中身を理解することが大切だと分かりました。(1年)

自分と同じということが普通と決めつけず、みんなの当たり前も人それぞれ違うことをわかっておく方がいいと思った。この人はこうだからと思い込みで人を判断すると関わり方が変わってしまうから、全ての人を受け入れて話すようにしたい。人の数だけ普通があるから、それを認めることのできる雰囲気作りも大切だと思った。(3年)